



高

校生ミュージカル「ヒメとヒコ」を親に行ってきました。地元に関する歴史を題材にしつつ、奄美との交流も絡め随所に島唄を入れるなど、とても作りこまれたミュージカルでした。演じている高校生の若さ、エネルギーがたくさん詰まっている作品で、県内だけでなく全国に発信したい名作だと思えます。上演に携わってきた方々、本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。(ばららちゃんcuteさん・38歳・女性)

「ヒメとヒコ」ある王の物語」は、平成20年に県内初の高校生ミュージカルとして公演してから今年で8年目を迎えました。演出家の松永太郎さんが1,500年前の大隅と奄美の交流をテーマに作った作品で、吾平で発掘された古墳時代の象嵌装大刀のエピソードを加えるなど、演じる高校生たちが心から「大隅大好き。」と叫ぶ感動的なミュージカルですね。これからのような文化を通じて、故郷の良さを全国に発信できればと思います。

ス

スポーツが好きなので、スポーツ合宿についての特集が面白かったです。自転車プロチームの設立や合宿の誘致など市がスポーツに力を入れてる事が良く分かりました。これからも「スポーツ健康都市かのや」としてスポーツに力を入れて欲しいです。(H・Tさん・21歳・男性)

鹿屋市は、市民の皆さんが体力や年齢、目的などに応じて「いつでもどこでも、いつまでも」スポーツを楽しむことができる生涯スポーツの振興はもちろんです。将来のオリンピック選手や国体選手を輩出するように鹿屋体育大学と連携して競技力の向上も目指しています。また、県内初のプロ自転車チーム「CHEL BLEU」もみんな応援していきたいですね。

春

の様な陽ざしが心地よく、最近歩き始めた孫を連れて、中央公園へ散歩に行きました。しかし駐車場に着いたら、白線がほとんど見えません。春になりたくさんの方が利用するようになると思います。駐車する時、白線があった方が止める所も理解できて、きちんと止められるのではないのでしょうか。(なっちゃんさん・59歳・女性)

歩き始めたお孫さんとの散歩でも楽しいでしょうね。お孫さんの成長に、目を細められるなっちゃんさんの姿が思い浮かびます。ご指摘を頂いた駐車場の白線については、市内の公園駐車場は、年次的に白線を引き直しており、中央公園の駐車場は今年度整備予定となっておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

鹿

屋へ来て、早17年。以前の広報誌よりずいぶん中身も見やすく、面白くなったと思います。これから先、若い人のアイデアなどたくさん取り入れて、より楽しい広報誌を楽しみにしています。(A・Tさん・48歳・女性)

広報かのやは平成27年1月にリニューアルし、鹿屋の季節や名所等にこだわった表紙や毎号特集記事、大人の社会見学、明日への扉など紙面に変化を加えました。まだ改善すべき点もありますが、これからも面白く市民の皆さんに親しまれる広報誌づくりに努めていきますので、ご愛読ください。

このほか、複数のお便りをいただきました。今号で掲載できなかったおハガキについては、ホームページで公開しています。

×キリトリ線

8 9 3 - 8 5 0 1

No.247

市民の皆さんからのお便りを募集

広報誌への感想や、市へのご意見のほか、地域のイベントや出来事、お勧めスポットなど多くの情報もお寄せください。

お便りをいただいた方の中から、抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています！

※掲載時に、原稿の一部を手直しする場合もございます。

〒893-8501 鹿屋市共栄町 20-1 市政推進課

「市民のひろば」係

☎ 0994-31-1123



お手数ですが
52円切手を
お貼りください

鹿屋市役所 政策推進課

KANOYA 「市民のひろば」係 行

お名前／ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢／性別

歳 男 ・ 女

ご住所 □□□-□□□□

プレゼント

要 ・ 不要